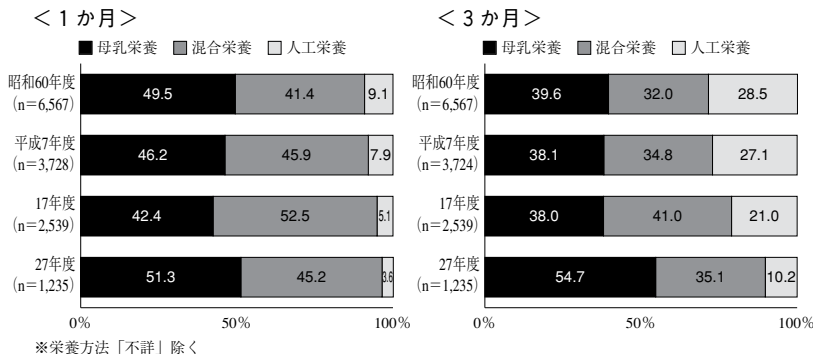


## 12 母乳栄養の推進

### 1. 乳児の栄養法の年次推移



資料：厚生労働省 乳幼児栄養調査（昭和60，平成7，17，27年）

### 2. 母乳育児の支援

#### 母乳育児の支援を進めるポイント

～もう一度、母乳育児の意味を考え、支援を進めていくために～

無理せず自然に母乳育児を実践できるように、妊娠中から出産後の環境を整えることは、赤ちゃんを「育てる」ことに自信をもって進めていくことができる環境を整えることでもあります。

- ①すべての妊婦さんやその家族とよく話し合いながら、母乳で育てる意義とその方法を教えましょう。
- ②出産後はできるだけ早く、母子がふれあって母乳を飲めるように、支援しましょう。
- ③出産後は母親と赤ちゃんが終日、一緒にいられるように、支援しましょう。
- ④赤ちゃんが欲しがるとき、母親が飲ませたいときには、いつでも母乳を飲ませられるように支援しましょう。
- ⑤母乳育児を継続するために、母乳不足感や体重増加不良などへの専門的支援、困ったときに相談できる場所づくりや仲間づくりなど、社会全体で支援しましょう。

資料：厚生労働省 授乳・離乳の支援ガイド（平成19年3月）

#### 【母乳育児を成功させるための十か条】

この十か条は、お母さんが赤ちゃんを母乳で育てられるように、保健医療スタッフが実行すべきことを具体的に示したものです。

1. 母乳育児の方針を全ての医療に関わっている人に、常に知らせること
2. 全ての医療従事者に母乳育児をするために必要な知識と技術を教えること
3. 全ての妊婦に母乳育児の良い点とその方法をよく知らせること
4. 母親が分娩後30分以内に母乳を飲ませられるように援助をすること
5. 母親に授乳の指導を十分にし、もし、赤ちゃんから離れることがあっても母乳の分泌を維持する方法を伝えてあげること
6. 医学的な必要がないのに母乳以外のもの（水分、糖水、人工乳）を与えないこと
7. 母子同室にすること。赤ちゃんとも母親が1日中24時間、一緒にいられるようにすること
8. 赤ちゃんが欲しがるときは、欲しがのままの授乳をすすめること
9. 母乳を飲んでる赤ちゃんにゴムの乳首やおしゃぶりを与えないこと
10. 母乳育児のための支援グループを作って援助し、退院する母親に、このようなグループを紹介すること

1989年3月 WHO/UNICEF共同声明

資料：ユニセフホームページ